

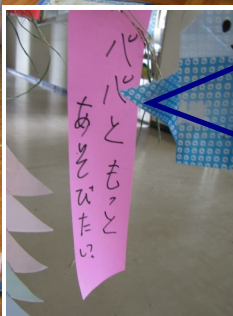
落合地区の	合計	3,784人	男 1,887	女 1,897	世帯数1,364世帯（平成28年 6月末）
人口世帯数	合計	3,777人	男 1,881	女 1,896	世帯数1,360世帯（平成28年 5月末）

七夕の短冊に願いをこめて!



7月11日に落合公民館講座キッズクラブで七夕の飾りつけと流しソーメン大会を開催しました。このキッズクラブは落合地区在住の乳幼児とお母さんがお互いに交流を深める中で、楽しく子育てをしてもらうことを応援する講座です。昨年は14組。今年はなんと19組の親さんと子どもさんに参加していただいています。少子化が叫ばれる中で、うれしい兆しを感じています。やはり、まちに子どもの遊ぶ姿や笑い声が聞こえないとさびしいですから。

そして、もうひとつありがたいのは、落合老人クラブ連合会（井口篤会長）の役員さんたちが、この企画に全面的に支援していただいていることです。七夕飾りの笹を用意していただいたり、流しソーメンの台のセッティングからソーメン流しまで、本当にありがとうございました。お母さんも子どもたちも本当に楽しい時間を過ごすことができました。



▲短冊に書かれたお願い
パパと もっと遊びたい
う～ん、なんと切実な!
パパ、出番ですよ!!
遊んであげて～!



ごみ収集日のお知らせ

可燃ごみ：月曜日・木曜日

資源ごみ：8月 5日(金) 9月 2日(金)

不燃ごみ：8月10日(水) 9月14日(水)

大型ごみ：8月24日(水) 9月28日(水)

※大型ごみは予約が必要です

詳細は事務所にお問い合わせください

※リサイクルボックス(24時間営業中)

※回収物：新聞紙・ダンボール・雑誌・牛乳パック

8月のお知らせ

- 6日(土) おがらん神社例大祭
- 13日(土) 中津川市おいでん祭
- 20日(土) 納涼カラオケ大会
- 21日(日) 自主防災リーダー研修会
- 28日(日) 中津川市総合防災訓練

あの福澤桃介が・・・もう90年・・・

不連続シリーズ 郷土の歴史再発見!



▲当時は現代のダム工事現場のような大掛かりな施設や機械はなく、せいぜいトロッコや小舟が使われる程度だった。そのために1日に何百人もの人々が動員されてつらい労働に従事した。

▲発電用の水車



▲困難を極めた開削工事



▲葉山嘉樹「セメント樽の中の手紙」より抜粋

発電所は八分通り出来上っていた。夕暗に聳える恵那山は真っ白に雪を被っていた。汗ばんだ体は、急に凍えるように冷たさを感じ始めた。彼の通る足下では木曾川の水が白く泡を噛んで、吠えていた。

▲葉山嘉樹 文学の碑

「ばかにはされるが、真実を語るものが
もっと多くなるといい」



▲落合の宝物ですね



関西電力落合発電所は、大正14年(1925)3月着工し翌15年10月末竣工し同時に送電を開始した。この発電所ができた当時は大同電力株式会社木曾川落合発電所と言っていたが、昭和14年大同電力株式会社は、電力管理法により、日本発送電株式会社に引き継がれ、昭和26年GHQの指示により集中排除法の適用を受け現在の関西電力株式会社に引き継がれたものである。

この発電所は大同電力株式会社が設計し、請負工事の内、ダム工事と発電所工事は共に飛島土木株式会社(現：飛島建設株式会社)が施工し水門と鉄管路工事は三井造船所が施工した。発電機は米国製であった。この発電所は大正13年12月完成の大井発電所に次ぐ日本第2番目のダム式発電所であって、ダム湖の水は上流4kmに及び、落合峡湖を作った。大同電力発電所建設のため村有雑種土地下笹目の原野一畝三步、馬場渡の山林三畝二歩・原野四畝十八歩が浸水したので、昭和4年7月これを293円65銭で売った。

「落合郷土誌」より抜粋